

平成30年度老人保健健康増進等事業

「介護保険サービスにおけるマネジメントシステムの導入によるサービスの質の評価に係る調査研究事業」

株式会社 三菱総合研究所

1. 事業目的

本事業では、過年度事業の経緯を踏まえ、介護保険施設においてマネジメントシステムの試行的な導入（平成29年度事業手引きに記載した「準備期・計画期」）を行った。そして、この中で得られた情報を、マネジメントシステム導入時の課題として整理した上で、平成29年度事業の手引きの付属資料作成を行った。

2. 事業概要

1) 検討委員会の開催

有識者及び関連団体の関係者から構成する検討委員会を設置し、介護保険施設におけるマネジメントシステムの試行的な導入方法や導入時の課題の整理等について検討を行った。

2) マネジメントシステムの試行的な導入（平成30年8月～平成31年2月）

介護保険施設特別養護老人ホーム よみうりランド花ハウス／立川介護老人保健施設わかばにおいて、マネジメントシステムを試行的に導入し、関連する情報収集（施設内文書の収集、導入上の課題の把握等）及び一次文書案・文書一覧案の提示を行った。

3) 介護保険施設におけるマネジメントシステム導入時の課題の整理

2)で収集した情報を基に、各施設でワークショップ等を開催し、介護保険施設における試行的なマネジメントシステム導入時の課題の整理を行った。

4) 「介護保険施設におけるマネジメントシステム導入のための手引き」の付属資料の作成

3)で収集した情報を基に、平成29年度事業で作成した「介護保険施設におけるマネジメントシステム導入のための手引き」の付属資料（報告書第3章）を作成した。

5) 報告書作成

本事業の内容についての報告書を作成した。

3. 事業結果

2施設における伴走支援を通じ、得られた本事業の効果としては、マネジメントシステムの試行的な導入を通じ、「施設内の文書が一覧化され、他部署と共有できた」「施設内の文書の管理ルール（一次文書案）ができた」「組織体制の見直しができた（意思決定のプロセスを明確にできた）」が実現できると言える。

一方、介護保険施設におけるマネジメントシステムを試行的に導入する上での課題としては、「マネジメントシステムを試行的に導入することを主導する人材の育成がない」「マネジメントシステムの試行的な導入のための時間を確保することが難しい」以下が挙げられ、今後導入推進を進める上では、継続的な検討が必要である。